

グッドウッドニュース

第331号

2025 年 6 月 発行

(有)職人's CLUB 柳沢建築

編集者 YODA



ご家族のケアを考慮した住まいの改修工事いかがでしょうか？

躯体はそのままに最小限の工事で限られたスペースを最大限に活かした介助しやすいトイレが完成



Before



After



お部屋

ご高齢のご家族が過ごすお部屋に隣接している小便器を洋式便器に改修し、さらに物置部分を壊してトイレ空間の奥行きを拡張しました。お部屋から出てすぐに入室できるよう全開口部を設け、介助しやすいバリアフリースペースとなりました。



①



②



③

①トイレの幅が限られていたため、介助スペースを充分に取れず、介助の際には既存扉を開けることで廊下スペースを使いながら動けるようにしました。限られた室内でも無理なく介助ができるようになりました。

②ポールタイプの手すりを設置すると通行スペースが狭くなってしまうため、両側の壁に手をかけられる溝を設けた、大工さん手作りの造作手すりを設置しました。

③全開口部にはスロープを設置し、出入口の段差も解消しました。杖でも車椅子でもスムーズに入りやすい仕様になりました。



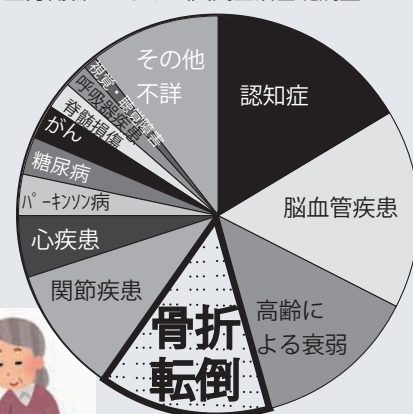
転倒予防のための玄関手すり施工例



壁面収納イスがあると更に安心!



高齢者の介護が必要となった原因
厚生労働省 HP より（国民生活基礎調査 2022）



「令和 4 年国民生活基礎調査（厚生労働省）」によれば（グラフ参照）高齢者の介護が必要となった主な原因は、認知症、脳血管疾患（脳卒中）に続き「骨折・転倒」が 13.9% を占めています。高齢者にとって転倒は骨折や頭部外傷等の大けがにつながりやすく、それが原因で介護が必要な状態になることもあります。65 歳以上の高齢者の転倒事故発生場所の約半数は住宅内となっており、家庭内のリビングや、階段、廊下、玄関などが多く見られます。住み慣れている自宅であっても転倒リスクがある事を意識して、お住まいに危険箇所がないか改めて見直してはいかがでしょうか。転倒予防のために手すりの設置や段差解消・足元照明の追加等は大変有効です。是非ご相談下さい！

住まいに関する新築・リフォーム工事承ります！お気軽にご相談ください！

間違いさがし答え：①女の子の服 ②ソファのクッション数 ③床のラグマットの模様 ④干してある靴下 ⑤観葉植物

↓↓ 詳しくは、「職人's CLUB」で検索!!

しよくにんずくらぶ

検索



ホームページ

ホームページ
Instagram
随時更新中!



SYOKUNIN CLUB

(有)職人's CLUB 柳沢建築

〒385-0034 佐久市平賀 942-2

代表 柳沢 守男

TEL: 0267-62-6723 / FAX: 0267-63-5600 / URL: www.sclub.jp

E-Mail: snc-y@dia.janis.or.jp

